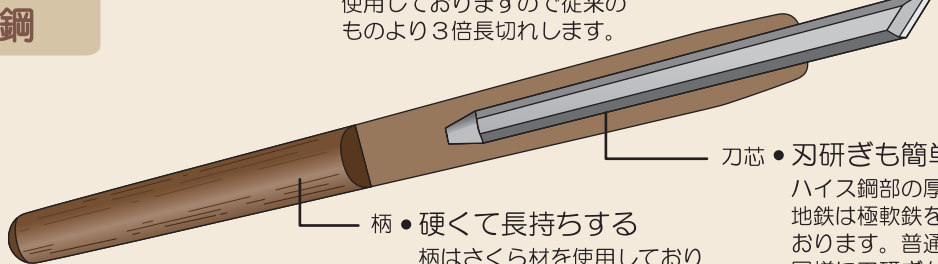


彫刻刀・木彫のみ・小細工のみ

彫刻刀 ハイス鋼

刃先・長切れする
ハイス鋼(SKH-51)〈鋼材〉を
使用しておりますので従来の
ものより3倍長切れします。



柄・硬くて長持ちする

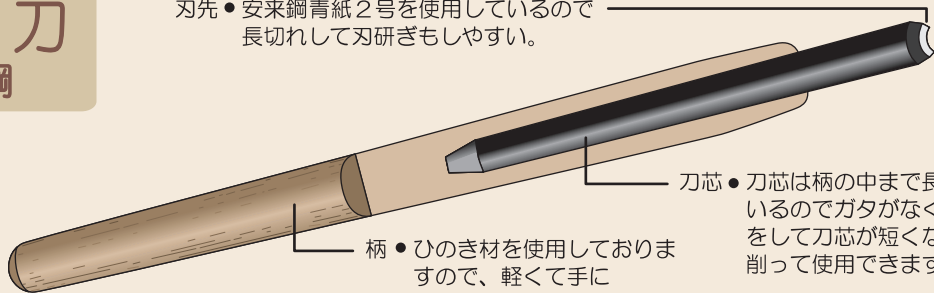
柄はさくら材を使用しており
ますので木質は硬く長持ちし、
少し重みがありバランスが良く
力を入れやすい。

刀芯・刃研ぎも簡単

ハイス鋼部の厚みは薄く
地鉄は極軟鉄を使用して
おります。普通鋼とほぼ
同様に刃研ぎができる上、
機械研ぎをしても焼き戻
りしにくい。

彫刻刀 刃物鋼

刃先・安来鋼青紙2号を使用しているので
長切れして刃研ぎもしやすい。



柄・ひのき材を使用しておりま
すので、軽くて手に
しっくりなじみます。

刀芯・刀芯は柄の中まで長く入って
いるのでガタがなく、刃研ぎ
をして刀芯が短くなると柄を
削って使用できます。

木彫のみ

柄 : 赤樫 全長約240mm
刃先 : 安来鋼白紙2号

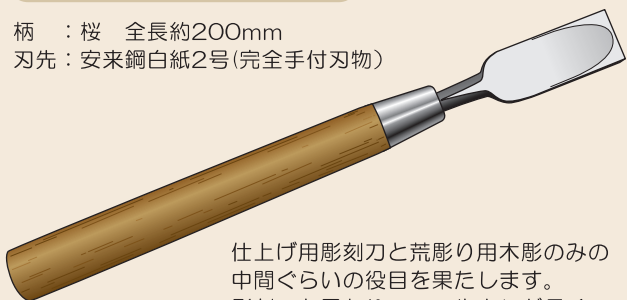


仏像や能面など角材から荒彫りするには
欠かせない道具です。
下がり輪がついているので玄能や木槌で
叩いて使用します。

<p>丸のみ(A)</p> <p>サイズ</p>	<p>丸スクイのみ(D)</p> <p>サイズ</p>
<p>平のみ(B)</p> <p>サイズ</p>	<p>平スクイのみ(E)</p> <p>サイズ</p>
<p>三角のみ(C)</p> <p>サイズ</p>	<p>三角スクイのみ(F)</p> <p>サイズ</p>

小細工のみ

柄 : 桜 全長約200mm
刃先 : 安来鋼白紙2号(完全手付刃物)



仕上げ用彫刻刀と荒彫り用木彫のみの
中間ぐらいの役目を果たします。
彫刻刀と異なり、刃の先出しが長く
刃幅が大きくなっても柄の太さは変わりません。
プロは最後の仕上げまで使用し、重宝している一品です。

<p>平刀</p> <p>サイズ</p>	<p>三角</p> <p>サイズ</p>
<p>丸刀</p> <p>サイズ</p>	<p>丸スクイ</p> <p>サイズ</p>
<p>浅丸</p> <p>サイズ</p>	<p>極浅丸</p> <p>サイズ</p>